第３６回法人会全国大会三重大会参加報告

第 36 回法人会全国大会（三重大会）が、令和元年 10 月３日、津市産業・スポーツセンターで開催され、全国の各法人会から約１，８００名の会員が集い、当会から２名が参加しました。

第１部の記念講演では、伊勢神宮広報室広報課長の音羽悟氏から「皇室と神宮」と題して、講演がありました。同氏からは、皇室の氏神である天照大御神は、第１０代崇神天皇により皇居外へ移され、第 11 代垂仁天皇の時代に伊勢神宮に鎮座したこと、神宮は稲の豊作を祝う神社であり、神嘗祭は、天皇が皇居内で収穫した新穀を毎年最初に神宮にお供えし恵みに感謝する儀式であること、２０１３年の式年遷宮の様子などが紹介されました。

第２部の大会式典では、一般社団法人三重県法人会連合会の宮崎由至会長の開会の辞、主催者を代表して小林栄三全法連会長の挨拶に続き、星野次彦国税庁長官、鈴木英敬三重県知事ほか来賓の祝辞、会員増強表彰等の授彰式を経て、「令和２年度税制改正に関する提言」の報告、昨年度の全国青年の集いにおける発表で最優秀賞を受賞した石川県連の金沢法人会青年部会による租税教育活動の報告があり、最後は「大会宣言」を朗読し締めくくられました。最後に次期開催地の岩手県連会長の閉会の挨拶と岩手県紹介ビデオが上映され幕を閉じました。

第３部の懇親会では、地元高校生ブラスバンドの演奏や踊りに迎えられ、 松坂牛や伊勢海老を始めとする郷土料理や美味しい地酒が振舞われ、大いに舌鼓を打ちました。和やかな雰囲気のなかで、会員交流、情報交換が盛んに行われ、来年の岩手大会での再会を約して大会の幕を閉じました。